

【タイム】 下降開始(12:15)→二俣(13:35)→林道(14:00)

赤倉沢

1984年7月21日
L

中津川林道のゲート前に車をデポして、赤倉沢出合まで歩く。
7:30進行開始。

出合は小滝が連続してとてもよい感じ。期待して進んでゆくと、だんだん平凡になってきて、左岸には踏跡らしきものが現われてきた。あとは河原が続き、小滝がいくつかあるだけ。

これで終わりかと思いかけた頃、20mのナメ滝が現われた。ホールド、スタンスとも豊富で、快速に登ることができる。登り終わって小休止。

この先は、流れもチョワチョワとなり、水の潤れた所でヤブをこいで910mピークに出る。9:40。地図には三角点の表示があるので、さがしてみたが、みつからなかった。ひとしきりさがしてから、上赤倉沢(仮称)めざして下降に入る。

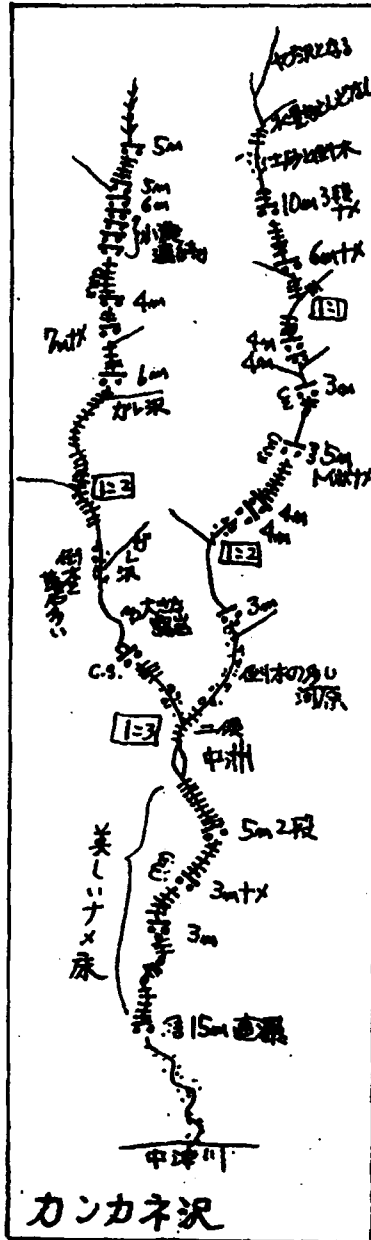
(記)

【タイム】 赤倉沢出合(7:30)→910mピーク(9:40)

カンカネ沢右俣・左俣

1984年9月30日
L

中津川の出合からしばらくは左右に蛇行する河原が続く。地図から判断して、多分そんなに大きな滝はないだろうと思っていたのだが、最初に出てきた



滝は、15mの直瀑で、結構立派なものだ。直登は無理なので、右岸を搦く。

このあとは、小さな釜をいくつかもった美しいナメ床となる。右岸には跡跡も見えた。あまり期待してはいなかったのだが、ここまではなかなかいい沢である。しかし、中洲を過ぎて、二俣から右俣に入ると、倒木まじりの河原となってしまい、美しいナメも二俣手前までであった。

右俣には顕著な支沢が2つ程あり、支沢の出合を越すごとに沢幅は狭くなり、おまけに藪の密度が高くなる。滝は大きくても3~4m程度で、小滝ばかりである。沢筋は連続直下まではっきりしているが、藪はひどく、源頭部では特に苦労した。

左俣への下降点は、右俣をつめ上げた所から2つめの小ピークであったが、尾根ぞいには跡跡らしきものがあって、勞せず下降点にたどりつけた。

13:10下降開始。5分程下降すると、すぐにルンゼとなり、左俣に入ることができた。

左俣は、右俣とは異なり、藪は全くなく、源頭部が少々草付になっている程度である。沢幅も比較的広く、明るい。右俣との出合までに顕著な支流が1本入り、ここからしばらくの間は河原となっているが、他はすべて岩床である。結構楽しい。源頭部は小滝が連続しており、傾斜もきつい。カンカネ沢左俣がおすすめである。

(記)

【タイム】 カンカネ沢出合(9:40)→二俣(10:25)→尾根・屋敷(12:10, 12:40)→左俣下降点(13:10)→二俣(14:20)→中津川林道(15:00)

枯松沢右俣・左俣

1984年7月21日

L

鳥川林道より枯松沢の出合まではオートバイを使用する。林道のゲートがしまっても、車と違って、通り抜けが可能だからである。出合まで約20分。

フェルトシューズを履き、早速遡行を開始する。割と広い沢幅で、ナメもあり、快調な出だし。

10分程歩くとF₁5mの滝にぶつかる。ナメ状で、ヌルゴケが付いているので、フリクションがきかない。木の枝に助けをもらう。このあとF₂まではあまり変化のない河原歩きとなる。

F₃から中枯松沢出合まで、小滝がポツポツと出始まる。どうやらこの沢は当りか?と思わず藪がニンマリ。

中枯松沢出合からは、小滝とナメが連続して出てくる。この辺は、コケが多く、